

1 交流活動「国際フェスティバル」

(1) 交流活動「国際フェスティバル」の目的

本校では交流活動「国際フェスティバル」を開いており、この催しは今年で4回目となる。外国の文化に触れたり外国の方々と交流したりすることで異文化理解を深め、積極的にコミュニケーション活動に取り組もうとする態度を養うことをねらいとしている。特に5・6年生は、英語活動での学びを生かす場として活動内容を設定している。このフェスティバルは、児童の異文化理解を深めるのが大きなねらいで、その相乗効果として英語活動への意欲喚起になればと考えている。

平成17年に実施した第1回目では、「食の探検隊」「肥後っ子わくわく地球教室」といった企業や県の事業とタイアップし、保護者の方にも児童と一緒に参加していただく形態をとった。その後、次年度の2回目からは学級または学年単位での活動とし、保護者の方にも参観していただけるようにした。また昨年度は、南稜高校の久保先生をお招きし、先生のスリランカでの活動についてご講演いただいた。

昨年度の見学へのアンケートで「英語活動の時間や外国の人と話せる時間を増やしてほしいですか」という質問をしたところ、「もっと増やしてほしい」と思っている児童が増えていた。国際フェスティバルは、児童にとって異文化を体験的に理解できる貴重な場となっている。

(2) 国際フェスティバルの計画

① 全体計画

本校では研究組織の中に3つの専門部を設けているが、その中の交流活動部が国際フェスティバルの計画および運営を担当した。

例年、フェスティバルの大まかな流れは「開会行事(全体会)」「交流活動」「閉会行事(全体会)」としていた。ただし、交流活動は20分ずつ2つの教室を体験するようにしていたため、十分な活動ができず深まりがないという反省が出ていた。そこで今回は、交流活動の時間を十分確保するために交流は1教室のみとし、さらに閉会行事は各教室で行うようにした。

免田小 第3回 国際フェスティバルのご案内

さて、免田小の国際フェスティバルも今年で3回目となります。外国の方々と一緒に遊んだり、外国の文化を教えてもらったりして楽しみましょう。また、活動中は、進んで話しかけてみましょう。

免田小学校 マスコット

各学年ごとの交流活動は、今年も国際色豊かに9つの国の出身者の方(15人)を講師にお招きして行います。

1年: アメリカ (エレン先生) 韓国 (権先生)

2年: フィリピン (高田先生・平田先生)

3年: ルーマニア (味岡先生) 中国 (市岡先生)

4年: 韓国 (大塚先生・張先生) エチオピア (ザナイ先生)

5年: 南アフリカ (ローレンス先生) イギリス (トーマス先生)

6年: アメリカ (リチャード先生) メキシコ (リチャード先生)

保護者の皆様には、普段の「学校開放日」のように参観していただくように考えています。活動内容によっては、お子さんと一緒に参観していただくことができたいと思います。たくさんのご来校をお待ちしています。

昨年度の案内プリント

国際フェスティバルの流れ

- 1 全体会(開会行事)【15分】
 - (1) 開会(2年生)
 - (2) 校長先生の話
 - (3) 講師の先生方の紹介
 - (4) 歓迎の歌「小さな世界」
- 2 各教室へ移動【10分】
- 3 交流活動【45分※閉会行事も含む】
- 4 閉会行事(各教室ごとに)
 - (1) 感想発表
 - (2) 講師の先生方へお礼の言葉
 - (3) 閉会

② 講師の招聘

国際フェスティバルに向けての講師依頼は毎年苦勞するところである。第1回目のフェスティバルからずっとお世話になっている先生もおられるが、本国へ帰られる方や他地域へ移られる方も多く、なかなか計画通りに進まないのが実情である。講師の先生をお願いするときにはその出身国ができるだけ偏らないようにし、各学年のこれまでの交流内容なども考慮して世界のいろいろな国の方と交流が持てるように心がけている。

また講師の人材確保は課題ではあるが、活動内容についても年替わりではなくある程度学年の柱を固定していきたいと考えている。幸い、近隣地域の中に講師としてお願いできる方が数名おられ、継続してフェスティバルにご協力いただいている。また、管内のALTの先生方にも毎年参加いただいております、5、6年生の教室へ入っていただきあいさつや自己紹介など実際に児童が英語でのやり取りをできるようにしている。さらに本年度の新しい試みとして、異文化を理解したり尊重したりするためには日本の文化や歴史をまず知ることが大切であるという考えから、4年生を対象にした日本教室を新しく設けた。ここでの講師も、本校区内の方をお願いすることができた。

※本年度の活動内容

学年	交流教室	活 動 内 容
1年	韓国教室	韓国のお正月遊び「ユンノリ（すごろく）」
	シンガポール教室	シンガポールの遊び「ピックアップスティック」「ファイブストーンズ」
2年	フィリピン教室	バンブーダンス
3年	ルーマニア教室	ルーマニアの文化、学校について
	イギリス教室	イギリスのスポーツ、観光名所について
4年	日本教室	「華道コース」「茶道コース」「太鼓踊りコース」（3コースの中から1つ選択）
5年	アメリカ教室	アメリカ（ワシントン州）の文化、日本との相違点など 班対抗すごろく遊び
	アメリカ教室	アメリカ（オハイオ州）の文化、日本との相違点など 班対抗すごろく遊び
6年	アメリカ教室	アメリカ（アイオワ州）の紹介 ラッキーゲーム（自己紹介）
	エチオピア教室	エチオピアの文化、食べ物、遊びの紹介 ダンスを覚えてもらおう

③ 活動案作成




各交流教室の講師の方が決まった後、活動案づくりに取りかかった。

活動案は「であう」「ふれあう」「つなげる」という3つの過程から構成することにした。「であう」は講師の先生とのお見知りの場とし、あいさつやお互いの自己紹介をしたり、歌を歌ったりして和やかな雰囲気作りをする。次の「ふれあう」は、主活動の場である。児童の実態に合わせて活動を決めるが、遊びや食文化、スポーツなど児童が興味を持てる内容にするように配慮している（上記、「本年度の活動内容」参照）。特に5、6年生では英語活動での学びを生かす場として内容を設定する。本年度は、5年生で英語ノート（試作版5年生）にある巻末のすごろくを活用したり、6年生ではフェスティバルの事前に学習した「わたしの夢」を講師の先生への自己紹介の中に盛り込んだり、講師の先生が子どもの頃に抱えておられた夢も話していただいた。また最後の「つなげる」では、交流での学びを確かめ合い、今後の学習につなげるようにした。

5年生（アメリカ教室）の交流活動

※事前に講師の先生と3回の打ち合わせを行った。

交流活動の進行は、英語活動で扱った簡単な表現を使って児童が交代で行う。

過程	主な活動	HRTの活動	GTの活動	備考
であう 5分 	①始めのあいさつをする。 ②GTの紹介を聞く。 ③日本のことやクラスの紹介をする。	・笑顔であいさつをする。 ・GTの紹介をする。 ・数名の子どもに紹介をさせる。	・笑顔であいさつをする。 ・簡単な英語を使って、名前、出身国、好きな物の自己紹介をする	
ふれあう 35分	④アメリカのことについて話を聞く。 ⑤アメリカではポストの色が何色なのか質問する。 ⑥ブルース先生に3ヒントクイズを出す。	・日本と似ている点や違う点はどこなのか考えながら話を聞かせる。 ・日本とは色が異なっていることを押さえる。	・家族のことや人気のあるスポーツについての話をする。 ・アメリカのポストは何色があるか話をする。	写真 写真
	⑦班対抗で「すごろく」をする。	・戸惑っている児童の支援を行う。	・子ども達に英語を使わせ、明るい雰囲気を進める。	カード すごろくの拡大図 サイコロ
つなげる 5分 	⑧質問したり感想を発表したりする。 ⑨Thank you songを歌う。 ⑩終わりのあいさつをする。	・気付いたことや感じたこと、考えたことを自由に発表させる。 ・子ども達と一緒に歌う。	・HRTとともに子どものがんばりをほめる。 ・子ども達と一緒に歌う。	CD

アメリカのオハイオ州の話を聞く。日本とアメリカの違いだけでなく、共通する部分にも目を向けられるように配慮する。



「ポストの色は赤」という固定概念を揺さぶり、異文化を体験的に理解する。

「すごろく」は、英語ノート（試作版5年生）の巻末にあるものを参考にして児童が作成した。



講師の先生との交流を通して感じたことを発表しあうことで、学びを確認する。

【児童の感想】

わたしが一番おどろいたことは、日本のポストは赤色なのにアメリカでは青だということです。日本とアメリカとではいろんな違いがあることに気がきました。それからすごろくゲームでは、問題を解いたりジェスチャーをしたりしてとても楽しかったです。これからは先生が話してくださったことを生かして、海外の人と仲よくしたいです。

【最後に講師の先生から児童へのメッセージをいただいた。】

私は日本での生活でたくさんの出会いがあり、いろいろな種類の食べ物や新しい体験をしました。登山をしたり、蜂を食べたり、イノシシ狩りもしました。日本の皆さんからは日本の伝統や忍耐、やさしさを教えてもらいました。

（中略）最後に海外に行く上で3つのアドバイスがあります。1つ目は順応な心をもつこと。2つ目に周囲をよく見て状況をしっかり把握すること。3つ目は積極的になることです。（後略）

(2) 朝の時間「キッズタイム」の工夫

本校では、毎週火曜日の朝の時間（8時15分から8時35分までの20分間）に「キッズタイム」を実施している。このキッズタイムも交流活動部が中心となって計画・運営を行っている。

キッズタイムには目的が2つあり、1つ目はハローレッスンの縮小版としての位置付けである。この時間は原則として学級担任が行っており、子どもの達成状況やハローレッスンでの自己評価等を踏まえ、歌や簡単なゲームを通してハローレッスンの復習を行っている。

もう1つは、異文化理解の時間としての位置付けである。月ごとにテーマを決めて全校キッズ（集会形式）を行う。ALTの先生に母校の文化や生活を紹介してもらう中で、交流を深め異文化への興味・関心を高めることが大きなねらいである。具体的には、事前に交流活動部の担当者とALTとで打ち合わせを行い、内容の決定とともに集会の準備を進めた。当日は、ALTが各行事の起りやその時の様子をプレゼンテーションなどを用いながら紹介した。このように全校キッズタイムは、内容の検討や事前の綿密な打ち合わせ、さらに実際の集会時には必要に応じて通訳が必要なため、本年度英語教員枠で採用された初任の教諭（交流活動部）が担当した。

【全校キッズタイムの流れ】

- 校内放送で全校キッズタイムを知らせる。
 - ① 開会
 - ② 全員合唱
 - ③ 月のテーマに関するお話や劇、クイズ
 - ④ 児童からの質問コーナー
 - ⑤ 閉会



【放送原稿】 ※放送担当は交流活動部

Good morning, everyone. How are you today?
 We have Kids Time in this morning.
 Today is 全校キッズタイム with Alex 先生 at the gym.
 Let's assemble at the gym until 8:15.

全校キッズタイムの様子は
校舎中央廊下に掲示し、毎月更新するようにしてい

【本年度の全校キッズタイム】

月	内容	形態
7月	See you 集会	集会形式
9月	Welcome 集会	集会形式
	アメリカの新学期について	プレゼンテーション使用
10月	ハロウィンについて	プレゼンテーション使用、クイズ
11月	感謝祭について	プレゼンテーション使用
12月	クリスマスについて	劇（ALT、本校職員）、質問コーナー
1月	日本とアメリカのお正月	プレゼンテーション使用、質問コーナー
2月	バレンタインデーについて	プレゼンテーション使用、質問コーナー
3月	イースターについて	プレゼンテーション使用
交流活動部が年間計画の作成や講師の先生との打ち合わせ（通訳・準備等）を行う。		

